

一般社団法人 日本物理学会
2016年事業報告
(2016年1月1日～12月31日)

目次

- 1. 事業概要
- 2. 各事業詳細資料 (附属明細1) 処務詳細資料
 - 2-1. 学術講演会の開催・後援等 ・総会・役員会等に関する事項
 - 2-2. 国際交流・協力活動 ・契約・入札・他に関する事項
 - 2-3. 物理学に関する普及・啓発活動 (附属明細2) 会員の異動状況
 - 2-4. 本会の目的達成のために重要な活動 (附属明細3) 事務局の現況
 - 2-5. 刊行物 (実施事業を含む)

1. 事業概要

主な活動内容は

- 1) 学会活動を支える組織・財政基盤の整備
- 2) 会員サービス向上のための新しい会員システムの整備
- 3) 学会誌の充実と英文誌刊行事業の整備
- 4) 大会のあり方についての検討
- 5) 物理学関連の教育、人材活用・支援を通じた社会連携
- 6) 社会への物理学情報の発信力強化と学会活動の広報
- 7) 国内外の学協会・団体との連携の強化と国際化
- 8) 設立70周年記念事業
- 9) その他

である。以下にそれぞれを概観する。

1) 学会活動を支える組織・財政基盤の整備

前事業年度(2015.1.1～2015.12.31)途中にスタートした会長の2年任期制(第71-72期:2015.3.31～2017.3.31)が2年目に入り、運営の安定化が図られた。第71期の柴田副会長(理事選任者)との円滑な引継ぎを経て、4月からの第72期には第73-74期会長予定者である川村副会長が就任し、申し送り事項などに的確な対応を行った。

昨年度第95回定時総会(2015.3.31)で承認を得た2016事業年度からの会費の改定(一律¥1,000の値上げ)が行われたが、円滑に実施され、一昨年度からの大会参加登録費の改定と相まって、財政の健全化が図られつつある。しかし一方、会員数の減少、会誌広告等の減少に伴う収入減が顕在化してきており、更なる会計の分析と今後の適切な対応を要する。

学会の日常活動を支えている事務局が職員にとって働きやすい環境であるように注視し、適切な業務分担や人員配置を行っているが、本事業年度中に3名の職員を新規に採用する一方、年度中に1名、年度末に事務局長を含む2名の職員が退職した。またここ3年間にわたり事務局運営委員会や理事会で継続的に議論してきた職員の給与などの改正案を取りまとめつつあり、来年度は実施に向けて必要な手順を踏む段階に達した。

2016年4月に発生した熊本地震による被災会員に対して2017年会費免除申請受付を行い(9月30日締切)、公的被災証明書を添付して申請のあった4名に対して会費免除を行った。

「細則」および「会員に関する内規」について、最新の学会の状況を反映させる改訂を行った。

支部活動の活性化のために、年1回の支部長会議及び物理学会秋季大会(物性会場)において支部長懇談会を開催し、役員名簿、活動報告、次年度の企画予算などの確認を行った。また2014年に整備された、

各支部が所属する支部会員への同報メールを送るシステムが活用されている。来年度に向けて、支部役員が単一の大学のメンバーだけで構成されることのないように依頼した。

2) 会員サービス向上のための新しい会員システムの整備

会員システムを2016年3月末に立ち上げ、4月11日より会員向けオンラインシステムを公開した。これにより、入退会、支払いなどがオンラインで可能となった。合わせて英語システムも公開した。今後も、この会員システムを改良し、より良い会員サービスの提供を図る。

3) 学会誌の充実と英文誌刊行事業の整備

会誌がより有用で魅力的なものであるように務めた。1. 深い物理を求めて編集委員会で議論を重ね、71巻では2つの小特集「ニュートリノ振動をめぐる素粒子物理の展開」「いよいよはじまるSuperKEKB/BelleII実験」をはじめ各欄の記事を掲載した。社会の人々との価値の共有について、学部3年生が十分理解できるような「物理学70の不思議」（本会設立70周年記念）をまとめた。原則として編集委員が議論を重ねながら執筆し、物理の未解決問題の本質を書き込んだ。113番元素などのニュースの際には、学会HPで公開する適切な会誌記事が用意され、学会が社会から期待されている役割を果たした。また、70周年を記念して、物理学史資料委員会の協力のうえ「変わりゆく物理学研究の諸相」シリーズを開始した。2. 際限なく細分化していく物理分野を階層的につなぐために、分野横断的な企画を検討した。3. 物理ファンの層を広げることに関しては、重力波の初検出、ノーベル賞など社会の関心が物理に向かうタイミングで「最近のトピックス」「学界ニュース」などにおいて即時の執筆依頼、掲載を行った。会誌の視覚的な魅力を考えて口絵や表紙を考えた。4. 「身近な現象の物理」や「物理学70の不思議」を通して探求型の教育を目指すのに有用な情報を提供できた。後者のまとめ冊子（20,000部印刷予定）は、会員配布のうえ、残余について非会員の高校生等への頒布が可能となっている。5. 社会の中で遊離しない物理のコミュニティを目指し、地域で自発的に運営される科学コミュニティを会誌で取り上げることとした。6. 編集委員会においてブレインストーミングを含めた自由な議論の時間をとり、分野間交流を図った。7. 会員間のコミュニケーションは、「談話室」において活発化した。

JPSJについては、2014年から移行したAtypon Literatum上でのオンラインサービスをさらに充実させた。将来計画検討ワーキンググループを設けて、JPSJの出版事業全体の状況、とくにオープンアクセス化への対応、購読契約数の推移を含む財政状況の見直しなどを検討した。投稿料を2016年8月から原則（10ページまで）無料化するとともに、オープンセレクトへのCC BY適用と料金改正を実施した。2014年から発行を開始したJPS Conference Proceedingsは4巻を刊行した。2014年から交付されている科研費（国際情報発信強化）を有効活用し、JPSJ、JPS Conference Proceedingsの国際学術雑誌としての認知度を高める広報活動を実施した。

2013年に本格スタートしたPTEPについては今後も優れた論文が多数掲載されるようにより一層努力を続けると共に、支援機関獲得への働きかけを行い、新たに6機関の賛同を得て15機関となり、科研費終了時の目標である20機関に近づいた。これと並行して、交付が決定された科研費（オープンアクセス刊行支援）については優れた中間評価を得てさらに有効活用し、PTEPの国際的認知度向上を計った。2018年4月の本科研費終了後の方策について検討を開始した。

4) 大会のあり方についての検討

大会業務委託に関して、2016年度中に入札を行い、業者を選定した。

第72回年次大会（2017年）の一般講演申し込みは、物理学会会員の「マイページ」からのみの申し込みに変更された。

2015年から開始した概要集の電子化サービスについては、不都合等はなく円滑に行われている。Webアクセスについては、ダウンロードの方法の改善が行われた。DVD資料配布数は減少傾向にあるが、価格設定や、事前送付の可能性など今後も継続して検討していくこととした。

理事会および領域委員会で議論し、プログラム編集会議の開催方法を次のように変更した。事前の調整により、編集会議出席者（運営委員数）を各領域の事情に合わせて減らすこととした。（ただし、他領域

との連絡・調整のために各領域から最低1人は出席することとした)

大会企業展示のあり方について、秋季大会時に出展業者から頂いた要望等も踏まえ、出展仲介業者との面談を行い、今後の対応策について議論した。近年激減している学会誌広告の今後のあり方も含め、物理学会から仲介業者あて、いくつか要望を出した。今後も検討を継続する。

第71回年次大会(2016年)において、核物理領域における学部学生ポスターセッションパイロット事業を新設した。今後も継続するとともに、Jrセッションとの兼ね合い、学生会員の拡大などについても検討を続ける。

現在各領域で独自に行っているポスター賞・学生賞などについて、学会が内容・審査方法などを把握した上で、統一的な「学生優秀発表賞」というような形とすることができるかどうか検討した。

5) 物理学関連の教育、人材活用・支援を通じた社会連携

キャリア支援については、「理工系(物理関連分野)人材のためのキャリアフォーラム」を例年通り2回開催、また「私立中高向け理系教員選考会」については新たに九州地区および東北地区でも開催した(計4回の開催)。加えて、「ビッグデータやデータサイエンスに関わる学生/研究者、企業の異分野異業種交流会」、ならびに「文科省科学技術・政策研究所」とのキャリア支援等に関する意見交換会を行った。

中高校生の物理学への興味をより促進させるために、Jr.セッションをさらに充実させた。Jr.セッションの参加者が年々増加し、今年は発表件数が100件を超えたことから、発表方法をポスター発表2部形式に変更し、また、より迅速に審査集計ができるように審査方法の見直しを図った。

大学における物理教育の充実を図るために、引き続き、「大学の物理教育」を年3回発行した。

他の学協会と連携して物理教育の一層の充実を図るために、毎年開催している物理教育シンポジウムを、今年は日本物理教育学会との共同開催とした。

物理オリンピック日本委員会(JPh0)から日本物理学会あてに理事の推薦依頼があり、日本物理学会の理事1名がJPh0の理事を兼務する体制として、1名を選出した。また、日本物理学会はJPh0に団体会員として参加していて、年一度のJPh0通常総会に物理学会会長が出席した。JPh0は、全国の物理が好きな中高生を対象としたコンテスト形式の物理チャレンジを行っていて、これは国際物理オリンピックの国内予選を兼ねている。

また2022年に国際物理オリンピックが初めて日本で開催されるため、その準備のために、IPh02022組織委員会が作られた。物理学会会長がこのIPh0組織委員会の委員となっている。また組織委員会の下部組織である実行委員会に、物理学会の理事が1名加わることになった。日本の高校生に物理を広めるよい機会であり、物理学会としても国際物理オリンピックに協力していくことになった。

男女共同参画推進活動として、物理学会年会においてシンポジウム「物理から広がる多様なキャリアパスダイバーシティの中での物理教育」を開催した。

またその中の次世代育成に関しては、女子中高生夏の学校2016の企画、運営、および参加を行った。

国内の連携活動として、男女共同参画学協会連絡会のシンポジウムに参加し、また、同連絡会の大規模アンケートでは、物理学会の同報メールや領域ごとの働きかけなどの協力もいただいた。

国際活動については、日物・応物男女共同参画連絡会としての活動を軸とし、APPC13(ブリスベン)へ参加し、活動報告を行った。また、2017年5月のジェンダーサミット10の準備として、WG1の活動を主導的に進めた。

6) 社会への物理学情報の発信力強化と学会活動の広報

科学セミナー、公開講座、市民科学講演会、Jr.セッションなどを例年通り実施したが、特に配布資料の充実努めた。科学セミナーにおいては、今年度から土日開催して実費程度の参加費(一般2,000円、学生1,000円)を徴収することとした。多くの参加者から講演内容や資料の充実を評価する声が高かったため、今後も継続することが望まれる。公開講座においては、日本学術振興会科研費の支援を得て参加費無料であるが、タイミングの良いテーマ(重力波)となり、大好評であった。

HP の活用に関しては、ノーベル賞・113 番元素・受賞等、物理学に関する価値の高いニュースがあった場合に素早い対応を行い、アクセスデータによってその効果を明らかにした。得られたデータ等をもとに、日本語版 HP についての改修計画を進めた。また、海外の物理研究者向けに英語版 HP を全面的にリニューアルし、運用を開始した。

2014 年にノーベル物理学賞受賞会員が 3 名増えたことを反映し、前年に日本物理学会を紹介するパンフレットやクリアファイルの改訂を行ったが、さらに 2015 年に 1 名増えたのでパンフレットの再改訂を行った。クリアファイルについては今年度は改訂を行わず、次年度における改訂の目処を立てた。パンフレットやクリアファイルは、科学セミナー等で配布を行い、広報活動に有効に用いられた。

7) 国内外の学協会・団体との連携の強化と国際化

刊行センターの運営では応用物理学会と連携し、AAPPS の運営では AAPPS 理事会と協力した。2016 年 12 月 4～8 日にブリスベン（豪州）で開催された APPC13 (The 13th Asia Pacific Physics Conference) には本会から会長をはじめ関係者が出席し、第 9 回総会や第 33 回と第 34 回理事会において、それぞれ新しい役員選挙の実施やこれまでの活動報告を踏まえた活動計画などが策定された。なお、総会において本会推薦の新理事 2 名が選出され、そのうち 1 名は理事会において Secretary に選出された。

物理教育に関しては日本物理教育学会、国際物理オリンピックに関しては物理オリンピック日本委員会と協力して活動を行った。

また国際化の一環として、本会の海外への紹介や外国人会員勧誘を目的として、定款・細則・入会手続きに関する規則類の英訳を行い、ホームページ（英語版）に掲載した。

これまで国外の 11 物理学会と締結している相互協定・覚書の見直しを予定していたが、未実施であり、今後の検討に委ねる。

日本物理学会が素案の策定を依頼され、本会物理教育委員会が 2012 年の第 68 期から検討し 2015 年 6 月に提出した物理学分野の素案に基づいた「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準：物理学・天文学分野」が 2016 年 10 月 3 日に学術会議より公表された。また、学術会議内に学術会議第 23 期より活動を始めた若手アカデミーから若手科学者ネットワークへの参加依頼があり、物理学会として情報を共有し連携していくこととした。

8) 設立 70 周年記念事業

日本物理学会は 1877 年創立の東京数学会社を起源とする一方、本年は 1946 年に設立されて 70 周年を迎えたので、「設立 70 周年 (2016) ・創立 140 周年 (2017) 」と名打った比較的小規模の記念事業を 2016～2017 年の 2 年にわたって実施しつつある。第 72 回年次大会 (2016 年 3 月 19～22 日、東北学院大) では、「学会史展示コーナー」を設置し、これまでの本会の歴史や活動を紹介したが、会員に好評だったのでこれらの資料の大部分を本会ホームページに掲載した。また本会の学会史年表については、学会誌 2016 年 12 月号に綴じ込みとして全会員に配布した。学会誌上では、記念事業の一環として「物理学 70 の不思議」と「変わりゆく物理学研究の諸相」のシリーズ記事を連載中である。

9) その他

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術講演会の開催・後援等	
2-1-1-1. 第 71 回年次大会	開催領域：素粒子論領域、素粒子実験領域、理論核物理領域、実験核物理領域、宇宙線・宇宙物理領域、ビーム物理領域、領域 1～13、

	<p>物理と社会 会期：3月19日（土）～22日（火） 会場：東北学院大学 泉キャンパス（宮城県仙台市泉区天神沢二丁目1-1） 講演数：3,867件 内訳：原著講演 3,611件、シンポジウム講演 186件、招待・企画・チュートリアル講演 21件、日本物理学会若手奨励賞受賞記念講演 47件、総合講演 2件*） 参加登録者数：5,392名 内訳： 会 員：5,219名（一般 3,017名、学生 2,202名） 非会員：173名（一般 64名、学生 109名） 託児室：8家族 10名（延べ 19名）</p> <p>*総合講演 ・安藤恒也（東工大） 「グラフェンと関連原子層物質の物理的興味」 ・梶田隆章（東大宇宙線研） 「ニュートリノ振動とニュートリノの質量 ースーパーカミオカンデの観測からー」</p>
2-1-1-2. 秋季大会	<p>【素粒子、核物理、宇宙線・宇宙物理領域関係大会】 会期：9月21日（水）～24日（土） 会場：宮崎大学木花キャンパス（宮崎県宮崎市学園木花台西1-1） 講演数：921件 内訳：原著講演 865件、シンポジウム講演 36件、招待・企画講演 20件 参加登録者数：1,237名 内訳：会 員：1,202名（一般 720名、学生・院生 482名）非 会員：35名（一般 12名、学生・院生 23名） 託児室：申込なし</p> <p>【物性領域関係大会】 会期：9月13日（火）～16日（金） 会場：金沢大学角間キャンパス（石川県金沢市角間町） 講演数：2,868件 内訳：原著講演 2,764件、シンポジウム講演 92件、招待・企画・チュートリアル講演 12件 参加登録者数：3,712名 内訳：会 員：3,565名（一般 2,078名、学生・院生 1,487名） 非会員：147名（一般 50名、学生・院生 97名） 託児室：6家族 6名（延べ 14名）</p>
2-1-2. 各種国内会議	130件の国内会議の共催・協賛・後援を行なった。
2-2. 国際交流・協力活動	
2-2-1. 国際会議の共催	<p>会議名：第14回宇宙核物理学国際会議 主催：国立天文台、理化学研究所（仁科加速器研究センター） 会期：2016年6月19日（日）～6月24日（金） 場所：朱鷺メッセ 本会代表運営委員：櫻井博儀（東大院理） 参加者数：320名</p>

	<p>会議名：第 9 回固体におけるスピン関連現象の物理と応用に関する国際会議 主催：PASPS IX 実行委員会 会期：2016 年 8 月 8 日（月）～8 月 11 日（木） 場所：神戸国際会議場 本会代表運営委員：小林研介（阪大院理） 参加者数：300 名</p> <p>会議名：INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON CARBON NANOTUBE in Commemoration of its Quarter-Century Anniversary 主催：産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本電気（株）、日本ゼオン（株）、技術研究組合単層 CNT 融合新材料研究開発機構 会期：2016 年 11 月 15 日（火）～11 月 18 日（金） 場所：イイノホール、東京工業大学くらまえホール 本会代表運営委員：斎藤晋（東工大） 参加者数：500 名</p> <p>なお、上記 3 件の国際会議以外に 24 件の国際会議の協賛・後援等を行った。</p>
2-2-2. その他の国際活動	<ul style="list-style-type: none"> ●AAPPS（アジア・太平洋物理学連合）メンバー学会としての活動 <ul style="list-style-type: none"> ・AAPPS 委員会の開催（日本物理学会・応用物理学会合同） ・AAPPS 第 9 回定時総会（ブリスベン）・理事会への委員派遣 ・AAPPS Bulletin 編集委員会への委員派遣 ・AAPPS Bulletin 編集委員会会議の Web 会議開催の協力 ・会誌・HP への AAPPS 活動の掲載 ● APS March Meeting 2016 ブース出展（3 月） ● 海外からの投稿者への JPSJ 掲載料金援助（一部）
2-3. 物理学に関する普及・啓発活動	
2-3-1. 科学セミナー	<p>企画名：対称性とその破れ 会期：8 月 20 日（土）、21 日（日） 会場：東京大学駒場キャンパス 数理科学研究科棟 大講義室 演題：対称性と保存則 外 9 件 聴講料：一般 2,000 円、学生証提示で 1,000 円 ※今回より有料化 聴講者数：176 名（8/20）、139 名（8/21） ※講演はビデオ撮影し、基本的には本会会員および参加者にのみ限定公開、講演者からの申し出により一部を非公開または一般公開とした。</p>
2-3-2. 公開講座	<p>【理事会企画】 企画名：一般相対性理論と宇宙 —重力波研究の最前線— 会期：11 月 26 日（土） 会場：東京大学本郷キャンパス伊藤謝恩ホール 演題：一般相対論と天文学 外 2 件 聴講料：無料 聴講者数：323 名 ※講師より許可された講演はビデオ撮影し、本会ホームページ上で</p>

	講演動画を公開予定。
2-3-3. 第 12 回 Jr.セッション (主に高校生による講演発表会)	期日：3月21日(月・祝) 場所：東北学院大学泉キャンパス 体育館(ポスター発表)および礼拝堂(梶田隆章先生を囲んでの交流会・表彰式)(第71回年次大会年次大会会場) 講演発表数：102件 ※今回よりポスター発表のみとした。
2-3-4-1. 年次大会市民向け講演会	第71回年次大会(2016年)(東北学院大学泉キャンパス) 期日：3月20日(日)13:30~16:10 場所：イズミティ21大ホール 入場料：無料 プログラム： 神岡の地下から探る宇宙の謎 中畑雅行(東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設長)「ニュートリノで探る宇宙の謎」 神田展行(大阪市立大学大学院理学研究科教授)「地下で測る宇宙のさざなみ～重力波検出実験KAGRA～」 梶田隆章(東京大学宇宙線研究所長)「粒子線天文学への期待」 参加者数：約500名
2-3-4-2. 秋季大会市民向け講演会	秋季大会(宮崎大学) 期日：9月25日(日)14:00~16:30 場所：シーガイアコンベンションセンター4F天瑞 入場料：無料 プログラム： 教科書を書きかえる世紀の発見 中村卓史(京都大学名誉教授)「重力のさざ波の発見」 梶田隆章(東京大学宇宙線研究所所長)「ニュートリノの小さな質量の発見」 参加者数：約600名 秋季大会(金沢大学) 期日：9月11日(日)14:00~15:30 場所：石川県立音楽堂 邦楽ホール 入場料：無料 プログラム： 天野 浩(名古屋大学)「世界を照らすLED」 参加者数：約100名
2-3-5. その他	●物理教育シンポジウム 企画名：アクティブラーニングをどう活かすか 会期：3月27日(日) 会場：東京大学本郷キャンパス 小柴ホール 演題：日本の授業実践研究に学ぶ 外2件(3件の講演に引き続き総合討論を行った) 聴講料：無料 聴講者数：173名 ●第71回年次大会理事会企画シンポジウム(東北学院大学泉キャンパス) 企画名：物理学・天文学分野の参照基準(後援：日本学術会議)

	<p>会期：3月19日(土) 講演数：6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第21回日本物理学会論文賞 5編の論文を表彰した。 授賞論文の代表者にはケース入り賞状と賞状の電子ファイルを贈呈した。 ●第10回日本物理学会若手奨励賞 47名の受賞者を決めた。 授賞者にはケース入り賞状を贈呈した。 ●自然の不思議－物理教室 主催：日本物理学会・日本物理教育学会・国立科学博物館 開講日(計6回)：6月18日(土)、7月2日(土)、7月17日(日)、7月30日(土)、8月14日(日)、8月27日(土) 講座名：立方体万華鏡と回折シート工作 外5回 場所：国立科学博物館(上野本館 地球館 3階実験実習室) 対象：小学5年生～中学3年生 ※各回の教室の様子や実験の一部を、写真付きで本会ホームページに公開した。 ●世田谷区中学生講座(才能の芽を育てる体験学習：サイエンス・ドリーム) 主催：世田谷区教育委員会(当会は協賛) 開講日(計3回)：10月29日(土)、11月12日(土)、12月10日(土) 講座名：お弾(はじ)きが衝突すると? 外2回 場所：国立大学法人 電気通信大学 対象：世田谷区立中学校の生徒 ※当会物理教育委員会・委員が講師を務めた。 ※各回の教室の様子や実験の一部を、写真付きで本会ホームページに公開した。 ●基礎実験講習会(高校物理の授業に役立つ基本実験講習会：東京会場) 主催：物理教育研究会(APEJ)、日本物理学会 共催：日本物理教育学会 協賛：応用物理学会、学術図書出版社 会期：7月17日(日)～7月18日(月・祝) 会場：麻布高等学校 実験項目：運動の法則 外9項目 対象：現職の物理(理科)教員、物理(理科)教員を志望する学生 他 ※本会支部(北海道支部、東北支部、新潟支部、大阪支部、九州支部)においても日本物理教育学会、物理教育研究会(APEJ)他との共催等により札幌、仙台、新潟、大阪、福岡で開催した。
2-4. 本会の目的達成のために重要な活動	<p>2-4-1. キャリア支援センター</p> <p>物理系人材の活躍の場を社会の多方面に広げていくための諸活動を行った。以下にセンターが行ったキャリア支援イベントを挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理工系(物理関連分野)人材のためのキャリアフォーラム 1月23日(土)於 東京大学理学部(参加者約80名)

	<p>2月6日(土) 於 大阪大学理学部 (参加者約70名)</p> <p>前半でキャリアガイダンスとして物理系人材が社会で活躍するにあたって参考となる講演を2件行い、後半では数社の企業の代表者に理系人材がそこでどのように活躍しているかを紹介してもらった。その後質疑応答時間を十分にとり、参加者の今後のキャリア開発の参考とした。 (2017年の開催予定: 1月21日(土) 大阪大学、2月4日(土) 東京大学)</p> <p>● 私立中高向け「理系教員選考会」 1月10日(日) 於 お茶の水女子大学理学部 (参加者約90名) 1月24日(日) 於 神戸大学 百年記念館 (参加者約30名) 12月11日(日) 於 九州大学 箱崎キャンパス (参加者4名) 12月18日(日) 於 東北大学理学部 (参加者9名)</p> <p>教員志望の理系人材のために、2016年春(12月のイベントは2017年春)からの採用をめざして私立の中高の担当者と理系人材が直接面談する機会を設けた。各イベントで2名以上の内定者が出た。 (2017年の開催予定: 1月8日(日) お茶の水女子大学、1月22日(日) 神戸大学)</p> <p>● ビッグデータやデータサイエンスに関わる学生/研究者、企業の異分野異業種交流会 1月31日(日) 於 東京大学 山上会館 (参加者約120名)</p> <p>ビッグデータやデータサイエンスに関わる企業の技術者の話を聞き、学生や研究者が自分の持つデータ解析の能力がどのような場面でどのように役立つのかを知る機会にするとともに、様々な立場の人々がデータ解析という観点から情報・意見交換を行って今後のキャリア形成の参考とした。</p> <p>これらのイベント以外には、Web やメールを通じたキャリア支援関連情報の広報活動を行った。また、文部科学省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)と会合の機会を持ち、博士人材のキャリアパス拡大に係る現状・課題につき意見交換を行った。 両方で共通の問題について今後連携協力して行くこととした。</p>
2-4-2. 協力活動	<p>● 「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係 ・ JABEE 理事、認定・審査調整委員会、審査事務連絡会、拡大運営委員会の各委員等を派遣</p> <p>● 男女共同参画関係 ・ 学会誌の「男女共同参画推進委員会だより」で広報活動を実施 ・ シンポジウム「ダイバーシティの中での物理教育」(日本物理学会年次大会)開催 ・ 女子中高生夏の学校2016の企画、運営、および参加 ・ 第14回男女共同参画学協会連絡運営委員会とシンポジウム参加 ・ APPC13(ブリスベン)2名参加</p> <p>● 受賞候補等推薦委員会関係</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・第13回江崎玲於奈賞、第13回（平成28年度）日本学術振興会賞、2016年度山田科学振興財団研究援助、2016年度朝日賞、第33回（2016年度）井上学术賞、第18回サー・マーティン・ウッド賞、平成28年度島津賞、第20回（平成28年度）松尾財団宅間宏記念学術賞、第57回（平成28年度）東レ科学技術賞、第57回（平成28年度）東レ科学技術研究助成、第58回藤原賞の各賞・助成に候補者を推薦 <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会理事派遣
2-4-3. 物理系学術誌刊行センター(PCPAP)	<p>応用物理学会と協同して運営を行った。</p>
2-4-4. 支部活動	<p>●2016年秋季大会金沢大学会場にて支部長懇談会（9月14日）を、本会事務局会議室にて支部長会議（6月20日）を開催した。</p> <p>●支部例会、支部特別企画等 次のとおり、各支部において適宜開催した（支部主催事業等、主な事業を記載）。</p> <p>【北海道支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会 …会期：12月15日(木)、会場：北海道大学 ・北海道支部講演会（計10回） …会期：1月18日(月)／2月2日(火)／2月8日(月)／4月28日(木)／8月2日(火)／8月22日(月)／10月5日(水)／10月25日(火)（同日に2回開催）／11月10日(木)、会場：北海道大学 ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 北海道 …会期：1月6日(水)、会場：札幌北高等学校、参加者数：32名、主催：日本物理教育学会北海道支部／日本物理学会北海道支部 <p>【東北支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会 …会期：8月19日(金)、会場：東北大学 ・出前授業（計11回） …会期：3月9日(水)／3月11日(金)／5月18日(水)／5月30日(月)／6月13日(月)／6月24日(金)／10月18日(金)／10月28日(木)／11月8日(火)／11月16日(火)／11月13日(金)、会場：宮城県仙台第三高等学校／宮城県石巻高等学校／宮城県立宮城野高校／宮城県立築館高校／宮城県立仙台第一高等学校／宮城学院高等学校／仙台市立青陵中等教育学校／茨城県立水戸第一高等学校／聖和学園高等学校／秋田県立花輪高等学校 ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 仙台 …会期：12月10日(土)、会場：福島県立安積高等学校、主催：日本物理教育学会東北支部、共催：日本物理学会東北支部／物理教育研究会(APEJ)／福島県高等学校教育研究会理科部会県南支部、後援：学術図書出版社 ・学都仙台宮城サイエンスデイ 2016 …会期：7月17日(日)、場所：東北大学川内キャンパス、参加者数：9,612名、主催：特定非営利活動法人 natural

science、共催：日本物理学会東北支部／東北大学／仙台市教育委員会／他 10 団体、協賛：株式会社ユーメディア／一般財団法人みやぎ産業科学振興基金、後援：文部科学省／宮城県／仙台市／宮城県教育委員会／他 45 団体

【新潟支部】

- ・役員会
…会期：12月10日(土)、会場：新潟大学
- ・新潟支部例会
…会期：12月10日(土)、会場：新潟大学五十嵐キャンパス、参加者数：99名
- ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会
…会期：11月27日(日)、会場：新潟大学駅南キャンパス ときめいと、参加者数：18名、主催：物理教育研究会(APEJ)／日本物理学会新潟支部／新潟大学／新しい理科教育を研究する会、共催：日本物理教育学会、後援：学術図書出版社／新潟県高等学校教育研究会理科部会／新潟県理化学協会

【北陸支部】

- ・役員会 (計2回)
…会期：7月31日(日)／11月26日(土)、会場：富山大学
- ・支部総会
…会期：11月26日(土)、会場：富山大学理学部 2F 多目的ホール、参加者数：約30名
- ・北陸支部定例学術講演会
…会期：11月26日(土)、会場：富山大学理学部、参加者数：171名、主催：日本物理学会北陸支部、協力：富山大学
- ・特別講演会 (計3回)
…会期：2月16日(火)／7月21日(火)／10月3日(木)、会場：福井大学総合棟 I 西館 11 階 理工工学科小講義室／富山大学理学部 多目的ホール (B243)

【名古屋支部】

- ・中部表面科学シンポジウム
…テーマ：「イメージング技術の最新動向：ハードウェアと計測手法の発展」、会期：1月23日(土)、会場：KDX 名古屋駅前ビル、主催：日本表面科学会、協賛：応用物理学会東海支部／日本真空学会東海支部／日本物理学会名古屋支部／応用物理学会薄膜・表面物理分科会／応用物理学会有機分子・バイオエレクトロニクス分科会
- ・日本真空学会東海支部 8月研究例会
…テーマ：「真空と宇宙」、会期：8月9日(火)、会場：飛騨市神岡町東茂住地区北部会館、参加者数：33名、主催：日本真空学会、協賛：日本物理学会名古屋支部

【京都支部】

- ・役員会
…会期：8月21日(日)、会場：京都大学
- ・親子理科実験教室
…テーマ：「そうだったんだ！ ～ 不思議で便利な動きのしくみ～」、会期：8月20日(土)・21日(日)、会場：京都大学理学部セミナーハウス、参加者数：各日 42名、主催：知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん／日本物理学会京都支部／

京都大学理学部

- ・科学普及員研修会（計2回）
…会期：7月7日（木）／7月16日（土）、会場：NPO 法人あいんしゅたいん事務所、参加者数：各日8名、主催：知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん／日本物理学会京都支部
- ・市民講座「物理と宇宙」第4回
…会期：11月26日（土）、会場：京都大学百周年時計台記念館（大ホール）、参加者数：約250名、主催：京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻／京都大学基礎物理学研究所、共催：日本物理学会京都支部、後援：京都新聞／京都市教育委員会／京都府教育委員会／滋賀県教育委員会
- ・シンポジウム「科学としての科学教育実践編2016」
…会期：12月23日（金）、会場：京都大学理学部セミナーハウス、参加者数：20名、主催：知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん／日本物理学会京都支部／京都大学理学部

【大阪支部】

- ・大阪支部懇談会（計2回）
…会期：3月4日（金）／5月30日（月）、会場：大阪大学／大阪府立大学
- ・支部講演会（計2回）
…会期：2月17日（水）／12月15日（木）、会場：大阪大学
- ・第32回湯川記念講演会
…会期：10月9日（日）、場所：大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール、演題：「事実は小説より奇なり～量子の世界への誘い」外1件、主催：大阪大学総合学術博物館湯川記念室、共催：日本物理学会大阪支部、後援：日本物理教育学会近畿支部
- ・大阪支部公開シンポジウム
…テーマ：「最先端研究施設で探る物質・素粒子・時空」、会期：11月20日（日）、会場：大阪府立大学 I-site なんば、参加者数：74名、主催：日本物理学会大阪支部、後援：日本物理学会京都支部／日本物理教育学会近畿支部／兵庫県教育委員会／大阪府教育委員会／和歌山県教育委員会／京都府教育委員会／大阪市教育委員会／京都市教育委員会
- ・ふしぎと遊ぼう！青少年のための科学の祭典 2016 大阪大会 サイエンスフェスタ
…テーマ：「科学・技術と私たちの暮らし～防災・安全・環境・エネルギー～」、会期：8月20日（土）～21日（日）、会場：梅田・ハービスホール、参加者数：8/20（土）約9,000名／8/21（日）約13,000名、主催：「青少年のための科学の祭典」大阪大会実行委員会／日本科学技術振興財団・科学技術館／日本物理教育学会近畿支部／日本物理学会大阪支部／大阪市教育委員会／大阪市立科学館／関西サイエンス・フォーラム／読売新聞社／大阪科学振興協会、後援：文部科学省他
- ・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会（大阪会場・兵庫会場）
…会期：大阪会場 12月4日（日）／兵庫会場 12月18日（日）、会場：大阪会場 清風南海高等学校／兵庫会場 兵庫県立御影高等学校、主催：日本物理教育学会近畿支部／日本物理学会大阪支部

【中国支部】

- ・役員会（計2回）
…会期：6月22日(水)／7月20日(水)、会場：岡山大学
- ・総会
…会期：7月31日(日)、会場：岡山大学
- ・応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会
…日時：7月31日(土)、会場：岡山大学津島キャンパス、参加者数：約300名、主催：応用物理学会中国四国支部／日本物理学会中国支部・四国支部／日本物理教育学会中国四国支部／日本光学会中国四国地区、協賛：岡山工学振興会
- ・第20回物理教育研究会
…日時：2月20日(土)、会場：広島大学学士会館、主催：広島県物理教育研究推進会、後援：広島県高等学校教育研究会理科学部会物化部／日本理科教育学会中国支部／日本物理学会中国支部／日本物理教育学会中国四国支部／公益社団法人日本理科教育振興協会
- ・サイエンスワールド2016「科学ミステリーの世界へようこそ」
…日時：11月6日(日)、会場：山口大学、主催：山口大学理学部、協力：山口大学教育学部理科講座、後援：情報処理学会中国支部事務局／電子情報通信学会中国支部／中国四国植物学会／日本物理学会中国支部 他

【四国支部】

- ・役員会（兼総会）
…会期：7月31日(日)、会場：岡山大学
- ・応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会
…詳細は中国支部と同内容
- ・学術講演会
…会期：11月29日(金)、会場：徳島大学、参加人数：23名、主催：日本物理学会四国支部／徳島大学大学院理工学研究部フロンティア研究センター
- ・第24回かがわけん科学体験フェスティバル
…会期：11月13日(日)、会場：香川大学教育学部体育館 他、主催：科学体験フェスティバル実行委員会／香川大学／一般財団法人四国産業・技術振興センター、協賛：日本物理学会四国支部 他
- ・LED総合フォーラム2016 in 徳島
…会期：12月17日(土)、会場：あわぎんホール、参加者数：250名、主催：徳島大学、徳島県、協賛：日本物理学会四国支部 他

【九州支部】

- ・役員会（計2回）
…会期：2月29日(金)／12月10日(土)、会場：九州大学／福岡大学
- ・支部例会
…会期：12月10日(土)、会場：福岡大学18号館、参加人数：160名、主催：日本物理学会九州支部、共催：日本物理教育学会九州支部／福岡大学
- ・特別講演会
…会期：12月10日(土)、会場：福岡大学A棟、演題：「宇宙誕

	<p>生のシナリオ、インフレーション理論 —観測的実証への期待—、参加人数：約 100 名、主催：日本物理学会九州支部</p> <p>・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 (第 7 回高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 福岡) …会期：11 月 23 日(水・祝)、会場：西南学院高等学校、参加人数：48 名、主催：福岡県高等学校物理部会／日本物理学会九州支部／日本物理教育学会九州支部、共催：物理教育研究会(APEJ)／科学教育ネットワーク in 福岡／NPO 法人理科カリキュラムを考える会</p>												
2-4-5. 情報・資料公開	<p>●図書雑誌および物理学史資料の供覧 必要に応じて実施した。</p> <p>●会誌の寄贈交換：国内、国外</p>												
2-5. 刊行物(実施事業を含む)													
2-5-1. 日本物理学会誌	<p>【公益目的支出計画実施事業】 第 71 巻第 1 号～12 号を刊行した。A4 冊子版、月刊、</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>月平均</th> <th>月予定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>1,095</td> <td>91</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>刊行部数</td> <td>201,170</td> <td>16,764</td> <td>16,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>【特別購読数】国内：232 国外：3</p>		総数	月平均	月予定数	ページ数	1,095	91	100	刊行部数	201,170	16,764	16,800
	総数	月平均	月予定数										
ページ数	1,095	91	100										
刊行部数	201,170	16,764	16,800										
2-5-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)	<p>Vol. 85 No. 1～No. 12 を刊行した。A4 冊子版及び電子版。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>月平均</th> <th>月予定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>2969</td> <td>260</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>冊子刊行部数</td> <td>5,000</td> <td>417</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>【掲載論文】 Letter 94, Full Paper 287, Short Note 19, Addenda 0, Comments & Reply 1, Erratum 3, Invited Paper 6, Special Topics 16</p> <p>【電子版の 2016 年 1 月-12 月論文総ダウンロード数 338,773】 【電子版ダウンロード、国内外の比率】国内 46%、海外 54% 【特別購読数】国内 166 (オンライン版 68、冊子版 98) 国外 365 (オンライン版 206、冊子版 159)</p>		総数	月平均	月予定数	ページ数	2969	260	252	冊子刊行部数	5,000	417	400
	総数	月平均	月予定数										
ページ数	2969	260	252										
冊子刊行部数	5,000	417	400										
2-5-3. PROGRESS OF THEORETICAL AND EXPERIMENTAL PHYSICS (PTEP)	<p>Volume 2016 Issues 1～12 を電子版で発行した。 掲載論文数：Paper 143 Letter 17 Errata・Addenda 4 特集論文・招待論文 27</p> <p>【電子版の 2016 年 1 月-12 月論文総ダウンロード数】 85,276</p>												
2-5-4. JPS Conference Proceedings	<p>Vol. 9 Proceedings of International Symposium for Ultra-High Energy Cosmic Rays (UHECR2014) e-ISBN: 978-4-89027-113-9、22 論文、</p> <p>Vol. 10 Proceedings of the 10th International Workshop on the Physics of Excited Nucleons (NSTAR2015) e-ISBN: 978-4-89027-114-6、70 論文</p> <p>Vol. 11 Proceedings of International Symposium on Radiation Detectors and Their Uses (ISRD2016) e-ISBN: 978-4-89027-115-3、45 論文</p> <p>Vol. 12 Proceedings of the 10th International Workshop on</p>												

	Neutrino-Nucleus Interactions in Few-GeV Region (NuInt15) e-ISBN: 978-4-89027-116-0、55 論文 【電子版の 2016 年 1 月-12 月論文総ダウンロード数 25,528】 【電子版ダウンロード、国内外の比率】国内 39%、海外 61%
2-5-5. 講演概要集	第 71 回年次大会(第 71 巻第 1 号) (全領域掲載) Web 版 2016 年 3 月 1 日から 1 年間公開 DVD 版 1,700 部 ※ほかに年次大会のプログラムとして 3 月増刊号 153 ページ (本文) 17,750 部を刊行した。 2016 年秋季大会 (第 71 巻第 2 号) (全領域掲載) Web 版 2016 年 9 月 1 日から 1 年間公開 DVD 版 1,500 部 ※ほかに秋季大会のプログラムとして 8 月増刊号 151 ページ (本文) 16,970 部を刊行した。
2-5-6. 大学の物理教育 (B5 判)	第 22 巻 1 号(3 月)、2 号(7 月)、3 号(11 月) を刊行 各号の刊行部数 1, 2, 3 号 1,600 部 年間総ページ数 138 ページ

(附属明細 1) 処務詳細資料
総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会 (開催日)	第 96 回定時総会 (3 月 31 日)
3-1-2. 監事会 (開催日)	2 月 20 日
3-1-3. 理事会等 (開催日)	<ul style="list-style-type: none"> ●理事会 1 月 9 日 2 月 20 日 3 月 11 日 3 月 31 日 4 月 9 日 5 月 14 日 6 月 11 日 7 月 9 日 8 月 6 日 9 月 10 日 10 月 18 日 11 月 12 日 12 月 10 日 ●会計理事会議 2 月 17 日 4 月 20 日 ●予算編成ワーキンググループ会議 9 月 10 日 11 月 4 日 ●会員システムプロジェクトチーム会議 7 月 28 日 (他、進捗状況報告会 1 月 8 日 2 月 17 日 3 月 8 日 4 月 26 日、web システムデモ 2 月 2 日等) ●会員・会友ワーキンググループ会議 10 月 4 日 12 月 9 日 ●学会史展示タスクフォース会議 1 月 20 日 2 月 3 日 3 月 2 日 3 月 3 日 3 月 10 日 3 月 12 日 ●応物事務局移転対応ワーキンググループ会議 5 月 28 日 10 月 3 日 ●日本物理学会・応用物理学会情報交換会 2 月 24 日、12 月 19 日
3-1-4. 委員会等 (開催日)	<ul style="list-style-type: none"> ●刊行委員会 1 月 14 日 3 月 1 日 4 月 21 日 5 月 31 日 8 月 31 日 10 月 31 日 ●会誌編集委員会

1月23日 2月27日 3月26日 4月16日 5月21日 6月18日
 7月16日 8月20日 9月17日 10月29日 11月19日 12月17日
 ●新著紹介小委員会
 1月20日 3月23日 5月11日 7月6日 9月7日 11月2日
 ●「物理学70の不思議」班長団
 6月2日 6月3日 7月16日 10月29日
 ●JPSJ 編集委員会
 1月13日 2月12日 3月8日 4月13日 5月11日 6月13日
 7月13日 8月10日 9月8日 10月12日 11月8日 12月12日
 ●JPSJ 将来計画検討ワーキンググループ
 (第1期) 2月12日 3月8日 4月21日
 (第2期) 11月8日 12月12日
 ●PTEP 編集委員会
 2月23日 5月10日 7月8日 10月21日 12月20日
 ●PTEP 企画委員会
 6月29日
 ●PTEP 将来計画検討ワーキンググループ
 11月25日
 ●受賞候補等推薦委員会
 2月13日 7月16日 9月17日
 ●物理教育委員会
 2月19日 3月27日 6月13日 9月8日 10月7日 11月5日
 ●大学の物理教育編集委員会
 1月11日 2月13日 2月20日 2月26日 5月11日 6月18日
 6月25日 8月31日 9月17日 10月15日 10月22日
 ●男女共同参画推進委員会
 2月27日 6月28日 9月17日
 ●領域委員会
 5月18日 11月15日
 ●事務局運営委員会
 2月21日 3月11日 5月14日 7月9日 8月19日 10月8日
 11月12日 12月10日 (その他メール審議1回)
 ●AAPPS 委員会
 5月31日
 ●選挙管理委員会
 2月16日 7月26日
 ●物理学史資料委員会
 3月12日 6月25日 12月5日
 ●Jr. セッション委員会
 6月15日
 ●第21回日本物理学会論文賞選考委員会
 2月13日
 ●広報委員会・HP 運営小委員会合同委員会
 6月14日
 ●研究費配分に関する教育研究環境検討委員会
 3月20日
 ●キャリア支援センター運営委員会
 7月30日

契約・入札・他に関する事項

● 主な新規契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類等	期間 等
2016/1/1	ソフトバンク・ペイメント・サービス	オンライン決済サービス	2016/1/1～2017/3/31
2016/3/2	サイバートラスト(株)	SureServerEV 証明書	2016/3/28～
2016/3/4	さくらインターネット	SSL サービス	2016/3/5～2017/3/31
2016/4/1	(株)ノブワークス・アヘッド	会員システム保守契約	2016/4/1～2017/3/31
2016/4/1	(株)マクスラシステムズ	コンサルティング業務請負	2016/4/1～2017/3/31
2016/4/1	(有)千代田商事	廃棄書類処理業務委託に関する機密保持契約書	2016/4/1～2017/3/31
2016/4/11	日本郵便(株)	ゆうメール運送業務委託	2016/6/1～2017/5/31
2016/5/19	トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株)	Citation Notice Service	2016/6～2017/3 配信分
2016/6/20	OUP, EUROPEAN ORGANIZATION FOR NUCLEAR RESEARCH	Provision of peer-review, open access and other publication services for the benefit of SCOAP3	2017/1/1～2019/12/31
2016/7/5	(株)杏林舎	各種業務委託に関する契約書	2016/7/5～2017/7/4
2016/7/22	Altmetric LLP	Altmetric Badge	2016/10/1～2017/9/30
2016/11/14	(株)アトラス	Atypon Literatum サービス利用契約書	2017/1/1～2019/12/31
2016/10/8	トーヨー企画(株)	大会業務委託基本契約	2017 年秋季大会作業開始 ～ 2022 年秋季大会作業終了
2016/10/8	トーヨー企画(株)	Jr. セッション業務委託契約	2018 年 Jr セッション作業開始 ～ 2022 年 Jr セッション作業終了
2016/10/8	科学技術社	広告に関する契約	2016/10/8～2017/12/31
2016/12/20	オックスフォード大学出版局	PTEP の電子版製作全般	2017/1/1～2021/12/31

● 入札に関する事項

- ・ 大会業務委託基本契約
- ・ Jr. セッション業務委託契約

公示日 2016年8月10日 説明会 2016年8月25日 応札締切日 2016年9月30日

● 許可、認可および承認に関する事項（なし）

● その他の事項

・ 第73・74期会長候補選挙を行った。

（附属明細2）会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2015年12月31日現在	2016年12月31日現在	
正会員	16,066 ¹⁾ (内：大学院生数 2,590)	16,442 ²⁾ (内：大学院生数 3,002)	+376 (内大学院生数+412)
学部学生会員	175	190	+15
賛助会員	91(209口)	89(202口)	-2(-7口)
計	16,332	16,721	+389

1) うち名誉会員 19、シニア会員 637。

2) うち名誉会員 20、シニア会員 712。

（附属明細3）事務局の現況（2016年12月31日現在）

職員17名は事務局と物理学系学術誌刊行センターに分かれており、派遣職員等を含む人員配置の内訳は以下の通りである。

事務局	職員14名 アルバイト1名 派遣職員2名
刊行センター	職員3名 派遣職員2名 JPSJ専任編集長1名 JPSJ専任編集委員1名 PTEP専任編集長1名

一般社団法人 日本物理学会
2016年事業報告附属明細書
(2016年1月1日～12月31日)

・記載すべき事項 特に無し